



THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUBS

REGION 9 ワイズメンズクラブ国際協会西日本区
JAPAN WEST

2021-2022 第2回中部評議会（ONLINE）議事録

開催日時：2021年10月2日（土）19：00～21：00

開催場所：各自宅等にて ZOOM による ONLINE 会議

- | | |
|-------------------|--------------|
| | 司会 中部書記 川本龍資 |
| ① 開会宣言・点鐘 | 中部部長 渡辺真悟 |
| ② ワイズソング | |
| ③ 開会祈祷 | 中部書記 川本龍資 |
| ④ 開会挨拶 | 中部部長 渡辺真悟 |
| ⑤ 評議会定数確認（部則9条5項） | 中部書記 川本龍資 |

算定出席総数16名 出席14名、欠席2名 部則にしたがい成立を宣言

※全構成員総数は19名であるが、役職兼務者3名のため、議決権者16名とする。

※列席者：中部事務局長 谷川修

※参加者名は別紙参加者一覧参照

- | | |
|-----------------------------|-----------|
| ⑥ 議長選出（中部部則第9条3項：議長は部長が務める） | 中部書記 川本龍資 |
| ⑦ 議長挨拶及び7～9月部長活動報告 | |

部会の準備をすすめてきたが、コロナによる緊急事態宣言の発令時期と重なることから、止む無く中止とした。同時開催予定だった YYY フォーラムは、来年5月頃に開催する計画である。また、3から4月頃にかけて、会員増強を目的としてフェルティバル的な EMC シンポジウムを開催したいと考えており、良いアイデアを募集する。

部長公式訪問は、金沢クラブのみ7月に実施。今後は、10月に東海、南山、とやまクラブの例会に参加予定。グランパスクラブへの訪問は未定

- ⑧ クラブ会長・事業主査 7～9月活動報告(トピックス)

会長から報告 ※これまでは、チャーター順の報告であったが、今回は逆の順で
清水(とやま) 11月に開催されるとやま YMCA のファミリーバザーに協力する。

服部(グランパス) ZOOM による例会で出席率が良い。連絡事項もうまくまわっている。第2例会は ZOOM が基本。来年はクラブ30周年。周年例会はやらず、120周年を迎える名古屋 YMCA の記念プログラムを応援するような企画を考えている。記念プログラムの重点目標が日和田キャンプ場の整備である。名古屋の各クラブと協力して支援できればと考えている。

荒川(南山)10月17日のワイズ農場例会に部長公式訪問を予定。10月から11月にかけて農場利用が目白押し。そのうち、YMCA 関係は5回、その他、南山寮やなひろ愛児園といった児童養護施設の子どもの招待もある。11月3日はフェロシップ In 南山、他に地域の障害施設等の利用もあると思われる。

松本(東海／代理) 8月はビアガーデンで納涼例会を実施。名古屋 YMCA に消毒液等5万円寄付した。バスケットボール大会、今年は3年生のみ、観戦者なしで開催された。

平野(平野) バナーが古くなったので作り直しを予定。8月例会で元名古屋 YMCA 総主事の加藤明宏氏が入会、会員数20名となった。9月例会はオンラインでIBC交流を実施。クリスマス例会は南山と合同で開催予定。部長公式訪問は、できるだけクラブメンバーも同行する予定。

山内(金沢) 6月末で2名退会、6名会員でスタートした。8月の例会は中止。9月は平常例会を開催、入会式を行った。渡辺部長、平野名古屋クラブ会長も ZOOM で参加。来年はクラブ75周年、部会と合わせて周年例会を開催の予定

主査から報告

川本(太田主査の代理として) EMC アンケートが名古屋ととやまクラブが未提出、10月8日までに主査に送って欲しい。

平野(国際・交流) レートが変更した。EF がアップとなる。

数沢(メネット) 特に無し。

坂口(Yサ) 特になし。

清水(地域奉仕) 特になし。

第1号議案 2020-2021年度 中部会計決算報告及び監査報告

2020～2021年度服部部会計より別紙に基づき会計報告。支出の大半は、予算化していたもののコロナ禍でほとんど執行できなかった。そのため、次期繰越金が大きく膨らむこととなったと、別紙決算書をもとに説明。監事は欠席のため、監事報告は書面にて。

質問(川本) 理事 FUND として50万円を計上することが前回の評議会で提案されていたが、これは前期処理ではなく、今期処理とするのか!?

回答(服部) 今期処理としてもらいたい。

全会一致で 提案のとおり採決、承認された。

第2号議案 次期(2022～2023年度) 部長キャビネットについて

山内次期部長より 書記にはグランパスクラブの荒川ワイズ、会計に金沢クラブの伊藤ワイズ、事務局長を金沢クラブの数沢ワイズとする案を別紙に基づき提案

全会一致で 提案のとおり採決、承認された。

第3号議案 次期(2022～2023年度) 中部事業主査について

山内次期部長より 西日本区書記より10月10日までに提出を求められていることを最初に報告し、Yサはとやまクラブ、EMCはグランパスクラブ、地域奉仕は名古屋クラブ、国際・交流は東海クラブから輩出をお願いしたい旨の提案

これまでの慣例として、現会長が次期主査となることになっている。提案の主査案に基づき、各クラブに持ち帰って それぞれに選出をはかることを確認した。

第1号協議 次々期(2023～2024年度) 中部部長選出ホストクラブについて

起案者の渡辺部長より 12月には決めたい。部長立候補をうけつける。立候補者がない場合は、輪番制を基本としたい。輪番では、とやま、東海、南山、グランパス、名古屋の順となる。

平野(名古屋) 協力し合うことを基本、前提で部長輩出を各クラブにはお願いしたい。

松本(東海) 立候補者は今後とも出ないだろう。輪番を基本とするという原則をもって
おいた方が良さだろう。

清水(とやま) 個人的には前向きにやりたい気持ちはあるが、まだ クラブとして部長
を輩出する段階に至っていない。もう1年猶予が欲しい。

第2号協議 中部会計の特別(ファンド)会計(仮称)の創設について(前期からの継続審議)
渡辺(名古屋)より 起案者として 説明、次回には議案としたい。

前回協議では、余剰金は残さず、全額をファンドに組み入れるという提案であ
ったが、余剰金を一定程度もっていることが一般的な会計のあり方ではないか。
また、万が一の備えとして余剰金を残しておくことの必要性和意義を思う。

松本(東海) ファンドを積むことには、ある程度賛成できる。しかし、複雑にしない
ことが肝要と考える。

山内(金沢) 金沢で部長をひきうけると 部長活動費が大きく膨らむ。

服部(グランパス) 余剰金を一定程度残しておくことの必要性はわかる。そのうえで、
ファンドを意図的に設けるかどうかである。

⑨ その他報告・連絡事項

坂口(グランパス)Yサ主査より 日和田キャンプ場のクロージングが10月23日、
24日の予定で行われることの報告

⑩ 監事総評

小林中部監事より コロナ禍、中部部会準備ご苦労様でした。中止は残念であった。
次期の書記に荒川ワイズ起用、こういう役員配置も良い。会長選出はいずれのクラ
ブも12月頃になるかと思う。選出について宜しく願いたい。FUND創設につ
いては、キャビネットでよく相談して決められたい。余剰金が出るようならば、部
会費を下げるのも一案と考える。

⑫ YMCAの歌

⑬ 閉会祈祷 (各自黙祷)

⑭ 閉会点鐘

中部部長 渡辺真悟

添付書類

・2022-23年度第2回評議会参加者一覧